

超高速無薬注生物処理装置「ケミレス」を用いた 浄水技術の普及・実証事業 株式会社ナガオカ(大阪府)

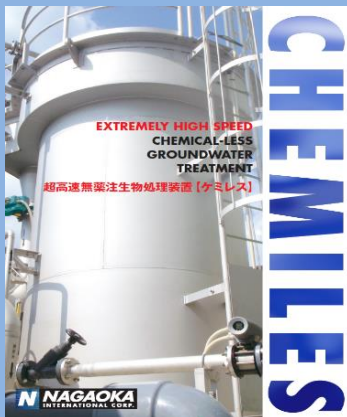
ベトナムの開発ニーズ

- ▶ ハノイ市周辺は100%地下水に依存しているが、高濃度の鉄、マンガン、アンモニア態窒素、ヒ素が含まれているため、適切な浄水設備による浄化処理が必要
- ▶ 増加する水需要に対応する河川水を水源とする新浄水場の計画が遅れており、既存の地下水を活用した浄水場の有効利用が必要

普及・実証事業の内容

- ▶ ハノイ水道公社 (HAWACO) が所有するTuong Mai浄水場にケミレスを導入し、データ収集・分析を通してケミレスの導入効果の実証を行う
- ▶ 運転管理及びメンテナンス方法の技術指導や本邦受入活動を通じHAWACOの持続的なケミレスの活用に向けた体制を構築する
- ▶ 技術交流会等を通してケミレスをPRし、ベトナム全土での普及を目指す

提案企業の技術・製品



超高速無薬注生物処理装置 「ケミレス」

- 地下水における鉄、マンガン、アンモニア態窒素、ヒ素の除去
- 接触酸化及び生物処理により薬品処理が不要となり、環境への負荷を軽減
- 独自開発のWP洗浄により、生物処理層にダメージを与える事なく処理能力を安定維持

事業概要

相手国実施機関: ハノイ水道公社 (HAWACO)

事業期間: 2016年3月～2017年7月

事業サイト: ハノイ市

Tuong Mai 浄水場

ベトナム側に見込まれる成果

- ▶ Tuong Mai 浄水場の処理水の水質がベトナム基準を満たす水準に改善
- ▶ 既存の水源と浄水場を有効活用しつつ、処理能力と処理水の品質が向上
- ▶ ケミレスの運転管理及びメンテナンス方法を習得することで、ケミレスを用い浄水場の安定的な運営及び安全な水道水の供給が実現

日本企業側の成果

現状

- ▶ Tuong Mai 浄水場にてパイロット試験を実施し、性能を確認済み

今後

- ▶ 水質改善と施設の更新を控えているHAWACOが所有する浄水場に対して「ケミレス」の採用を促進する
- ▶ ハノイ都市圏の浄水場への導入を目指すとともに、他地域 (ホーチミン市や農村地域) にもマーケットを拡大する
- ▶ ベトナムを基点として、近隣国 (ラオスやカンボジア) での普及も目指す